

事業所名

はぐくみの家 ピジョン

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

2月

28日

法人（事業所）理念		社会的支援を欠くことのできない子どもたちの生活と成長を支えるため、何よりもまず子どもたちの目線に立ち、その子一人一人に合わせた環境を提供することを目標としています。		
支援方針		自分の障がい特性を抱えながら、日々の生活や活動を通じて、さまざまな経験を積んでいけるように支援します。また、コミュニケーションの獲得・向上するとともに、「伝える」「伝わる」楽しさが感じられるよう日々の活動から、支援していきます。		
営業時間		平日：14：30～17：30 学休日：10：00～16：00	送迎実施の有無	あり（自宅までの送迎は応相談）
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの健康状態の維持、整える時間をつくります。（休息をとる・自身の身体の限界を知る）</li> <li>・基本的な生活スキルの獲得できるように支援します。（トイレ・衣服・靴、装具の着脱等）</li> <li>・食育や食べる時のマナーの習得できるよう支援します。（苦手意識のある食べ物への挑戦をする）</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常動作の向上をめざします。（自らできることは継続し、支援が必要な時には、職員と一緒に挑戦する）</li> <li>・正しい姿勢の保つことができるように支援します。</li> <li>・五感の感じる活動の設定の中、感覚を養っていきます。（視覚、触覚、聴覚、味覚、嗅覚）</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間、時間、数の概念などの認知発達を促します。（時間配分等）</li> <li>・小集団での活動や遊びの中で、適切な行動の習得を促します。（物の貸し借り、順番を待つ、物を大事に扱うことなど）</li> <li>・危険を感じる力を習得します。（調理実習、防災訓練など）</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や状況、場面にあった言葉遣いを人とのコミュニケーションの中で発揮できるように導き促します。（声の大きさ、お願いするあいさつなど）</li> <li>・コミュニケーションの手段の獲得を支援します。（字・数字・絵などで書き伝えること等）</li> <li>・自分の気持ちを相手に伝えること力がつき、伝わる喜びが感じることができるよう支援していきます。（s s Tなど）</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との関わりを大切にします。</li> <li>・外部に出かける時などのマナーの習得をします。</li> <li>・周りの状況を見て、行動できる力を養います。</li> </ul>		
家族支援	日々の様子については連絡帳を用いて情報交換を行い、本人が抱えている課題や保護者のニーズなどの情報は日々のお迎えの際に情報を共有するとともに、必要に応じて適宜面談の機会を設けます。	移行支援	送迎時や面談・会議などの場において、実習先での様子や課題などの情報を共有し、卒業後の進路決定に向けて情報交換を行っていく。	
地域支援・地域連携	送迎時や会議などの場において学校で設定している課題や日常の様子などの情報を得ると同時に、事業所での取り組みや関わりについて共有します。	職員の質の向上	ケース検討会 法定研修（感染予防、身体拘束・虐待防止、避難・消防訓練など） 定期的な職員のスキルアップ研修	
主な行事等	季節の行事（夏祭り、クリスマス会など） 長期休み中の外出（工場見学、遠足、プール、ボウリングなど） 保護者参加イベント			